

# お子様を車に乗せる際の注意事項について

## 1. \*お子様を車に乗せる際は、必ずチャイルドシートを使用しましょう

**【注意!!】** シートベルトは成人用に作られています。このため、子供がチャイルドシートを使用せずシートベルトを装着した場合、衝突時に体を適切に保護できず、首等に重大な傷害が発生するおそれがあります。また、抱っこも大変危険です。



(出典)一般社団法人日本自動車連盟(JAF)



(出典)一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

\* 6歳未満の子供を乗せる場合は、チャイルドシートを使用しなければならないこととされています。  
チャイルドシートは、お子様の体格にあったものを選びましょう。

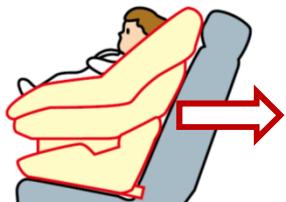
## 2. お子様はできるだけ後部座席に乗せるようにしましょう

**【注意!!】** 助手席では、膨張するエアバッグにより子供に被害が及ぶ場合があります。



エアバッグは、衝突時に乗員の被害を軽減する安全装置ですが、成人の体型を前提に設計されているため、体が小さい子供には、適切に機能しないことや、被害を大きくすることができます。

助手席にチャイルドシート<sup>(\*)</sup>を取り付ける場合は、助手席のシートを一番後ろに下げて前向きに取り付けてください。

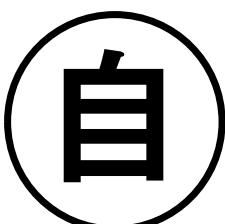


\* 助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けることは危険です。

## 3. 国の安全基準への適合が確認されたチャイルドシートを使用しましょう

**【注意!!】** 国の基準に不適合のチャイルドシートでは、衝突時に子供を守れません。

国の安全基準への適合が確認されたチャイルドシートには、以下のいずれかの表示があります。



\* 「43」以外の番号が付されている製品も適合品です。



表示の例